

風力発電に

第5弾

仁木町民有志は、 なぜ反対するのか！



仁木町北町1丁目45



津司 康雄

◇関西電力は、信頼のおける会社かどうか？

見分けてください。

更に、**特別名目会社**※に移る意味も考えてください。

※関電は、別会社を設立して、トラブルが発生したり、経営がうまくいかなかったとしても、関電に責任と損害が行かないような仕組みを作っています。

◇土砂災害の危険性

建設用地は、しんだいさんきかざんさいせつがん新第三紀火山碎屑岩 (2303年前～258年前)・第四紀火山(258年前～)の古平層が主体で、**岩盤等級分級基準**



では 6 階級ある最下位のもろい山です。

地質的には、中止になった小樽・余市ウィンドファーム事業と同じ地質です。小樽市長は災害の恐れがあると拒否しました。

◇一朝一夕にはできない水源涵養保安林

保水力は、新第三紀火山^{さいせつがん}砕屑岩(2303 年前～258 年前)・第四紀火山(258 年前～)から、樹木が育ち、長い年月をかけて落葉が発酵を繰り返して気泡の層を形成し、現在の緑のダム、天然のダムを形成し災害や干ばつを未然に防いでいます。



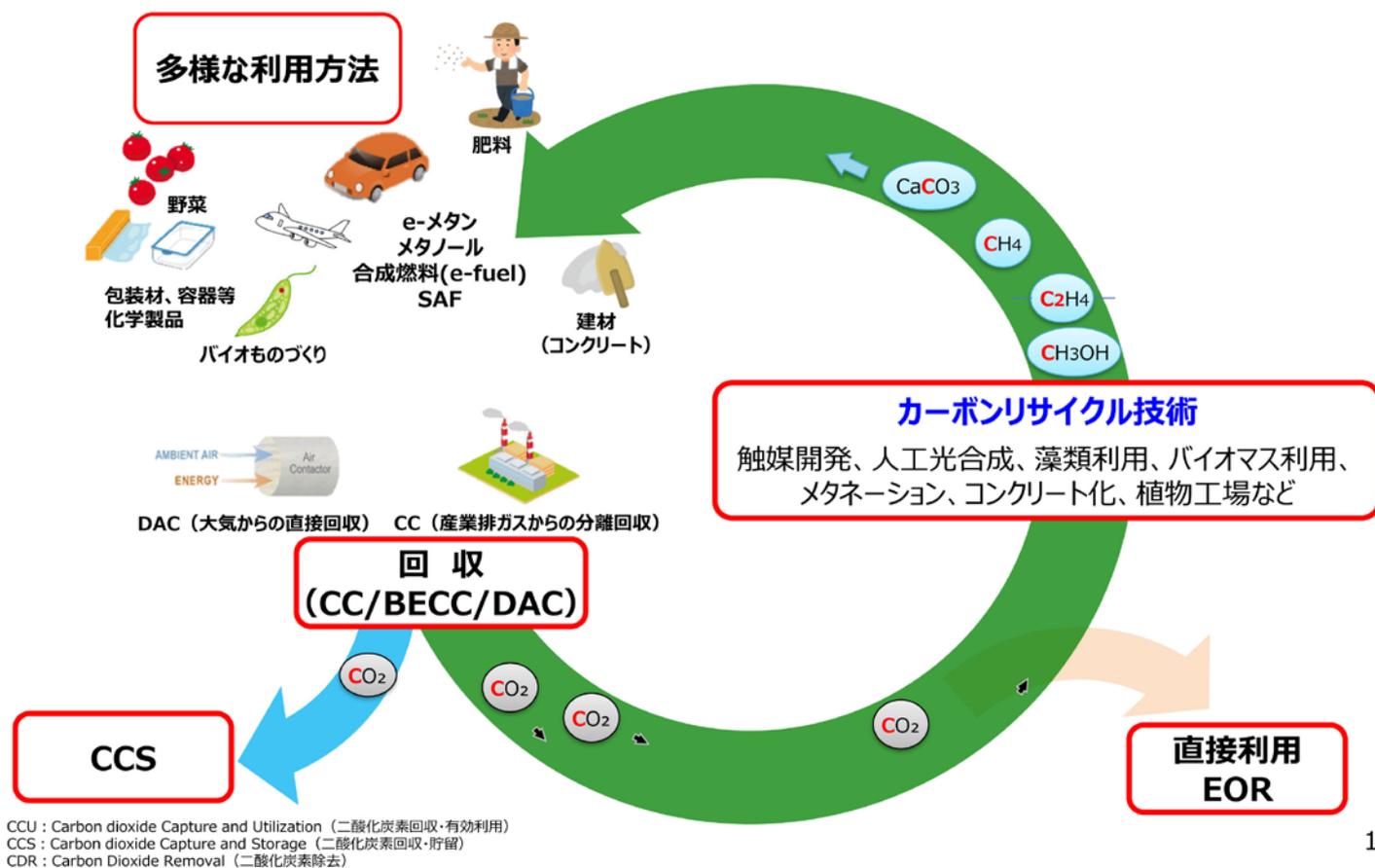
そこに、林道と言う国道 5 号線クラスの作業道路を作り、広大な腐葉土を壊し、上を切ると下は、雨水で更に壊れが加速します。

風力発電機部分は、腐葉土を壊した代わりに小さいくぼ地で代替を認めているが、逆にそこから地下浸透が始まり、更なる災害のきっかけになる可能性が大きい。

◇再エネは風力だけではありません

資源エネルギー庁は、カーボンリサイクル燃料(SAF、合成燃料、合成メタン)の商用化に向けたロードマップ(改訂版を2023年6月30日)の中間とりまとめを発表しました。

カーボンマネジメント（CCU・カーボンリサイクル/CCS/CDR）のイメージ



1

令和5年6月23日付け経済産業省カーボンリサイクルロードマップより

それによりますと、2030年～2034年商用化開始、2035年～2039年生産量の拡大と示されております。

合成メタンも本年1月11日道新記事によりますと2050年には、天然ガスと価格が同水準になるとの報道でした。

◇電気は、地産地消が、一番効率が良く安い

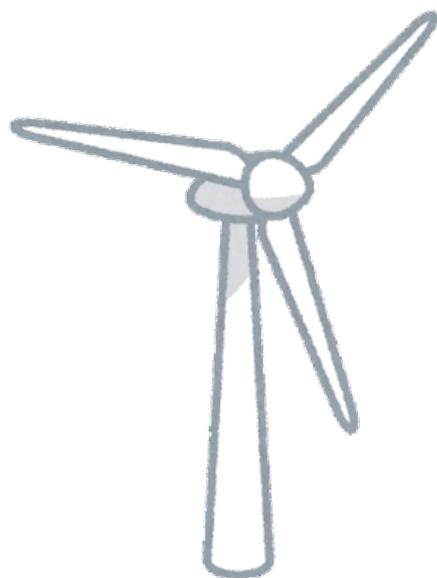
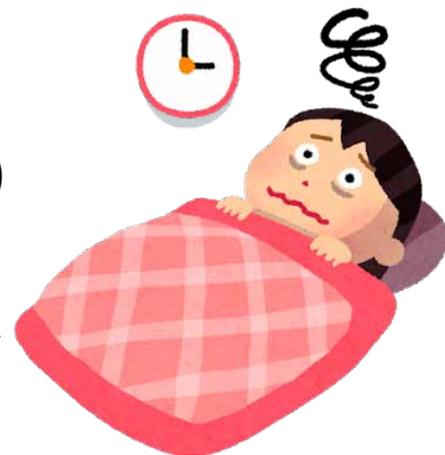
電気を地産地消にして、送電線計画を止めれば、日本海側3兆円、太平洋側3兆円、北海道内1兆円、**合計7兆円**が浮き、国内発電量の3.4%、火力発電所7基分にも相当する送電ロスも浮きます。



◇低周波・超低周波の健康影響

風力発電所は、**2割～3割**（東伊豆町は**6割**）の**人**に健康に影響があるとされています。

今から、災害の恐れがあり、人、動物、果樹等に深刻な被害をもたらしてまで作る意味がありません。



風力発電機の大きさにもご注目下さい、人の居住地地域では設置する物ではありません、大きすぎます、超低周波は**10 km**先まで届き、地形によるリスクは**4.8倍**になると言われ、少なくとも人の居住地には作ってはいけないしろものです。**これほど大きくなりますと、余市町・仁木町の住民は、全員罹患する可能性があります。**

◇固定資産税が入っても、地方交付税が減額されます

固定資産税は、論外です。トータルで大赤字の可能性がります。



◇廃棄処分先がありません。



画像出典：<https://ameblo.jp/shige-king/entry-11489856898.html>

有毒物質が強化剤として大量に使われていますので処分が出来ず野済みの状態です。

罰則が、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金（建築基準法摘要）と、軽くて勘ぐってしまいます。